



令和2年度千葉県広域スポーツセンター事業方針

千葉県教育委員会では、平成29年度からの5年間を見据えた、第12次「千葉県体育・スポーツ推進計画」を平成29年4月に策定しました。『スポーツ立県ちば』を一層推進していくため、総合型地域スポーツクラブへの期待と、クラブが目指す姿を示しました。広域スポーツセンター（広域SC）では、市町村やクラブと連携し、以下の事業に取り組みます。

令和元年度
○成果 ●課題等

○小学校が閉校する地区において住民が主体となり、行政と連携して総合型クラブを設立
○社会福祉協議会やPTA、商店街などが設立準備に関わることが増えている。

○ニーズに合った自立活性化支援活動
●市町村への事業の周知、連携
●市町村と総合型クラブのニーズの把握

○情報交換会での新しい取組
●スポネット参加者、参加市町村の減少
●運営が困難になっているクラブへの訪問、支援

○スポーツ情報センターHPとの情報共有・連携
●市町村との連携した周知活動について

●登録・認証制度についての総合型クラブへの周知について
●登録・認証制度に対応できないクラブへの支援
●中間支援組織の運用方法の検討

事業方針 支援体制の再構築 ～関係機関との連携強化～

1 未設置市町村への設立支援（量的拡大）

<p>啓発活動</p> <p>千葉県体育・スポーツ推進計画に関わるWGでの連携 ・青少年相談員、社会福祉協議会等との連携 スポーツ推進委員の研修会等での啓発活動</p>	<p>重点支援活動・設立支援活動</p> <p>・設立が見込める市町村を重点的に支援（ニーズに合った設立支援イベントの開催） ・近隣クラブとの連携</p>
---	--

2 総合型地域スポーツクラブへの活性化支援（質的向上）

<p>支援活動</p> <p>訪問活動・ニーズに合った自立活性化支援 ・障がい者スポーツの支援普及 ・経済的支援の情報提供や市町村の事業との連携</p>	<p>クラブマネジャー・指導者育成 クラブマネジャー養成講習会</p> <p>・アシスタントマネジャー資格取得奨励 ・市町村担当者、スポーツ推進委員、市町村体育スポーツ協会員の受講奨励</p>
---	---

3 総合型地域スポーツクラブ間のネットワーク強化（交流）

【千葉県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会への支援】

<p>交流大会の開催</p> <p>第9回スポネットちば2020開催 ・交流の促進 ・総合型クラブの認知度向上</p>	<p>情報共有</p> <p>情報交換会の充実 ・連協事務局をサポート（企画・運営） ・クラブ間の連携強化</p>	<p>事業支援</p> <p>連絡協議会の機能強化へ ・連協参加クラブの増加 ・連協に関わる人材の発掘</p>
--	--	--

4 県民・スポーツ関係者への広報・啓発活動

<p>ホームページによる最新情報の提供</p> <p>・SNS等による情報発信</p>	<p>認知度向上のためのポスターの作製</p> <p>・市町村の体育施設等への掲示</p>
<p>「スポーツ立県ちば推進月間」の活用</p> <p>・スポネットちば ・スポーツで元気いっぱい！親子体験イベント ・県内プロスポーツ団体との連携</p>	<p>各種広報媒体を通じた広報活動</p> <p>・SNS等による発信</p>

5 支援体制の再構築

登録・認証制度の情報収集及び県スポーツ協会、連絡協議会との協議

・市町村の支援を得るための調査等

県スポーツ協会や連絡協議会、市町村との情報共有

・生涯スポーツ市町村担当者会議等を活用

広域SCの目指す姿勢

「理念の共有」を通じた啓発・設立支援
総合型地域スポーツクラブは、子供の遊ぶ機会を確保したり、高齢者の居場所づくり、コミュニティの維持など様々な効果がある。連携できる団体に対して啓発活動を行うことで、新しい連携を模索する。

総合型クラブの育成・発展に向けての支援
市町村によって、総合型クラブとの連携の仕方が違うので、効果的に訪問活動ができるようにする。クラブマネジャーで養成された指導者と後継者問題で運営が苦しいクラブを繋げるような取組を検討する。

千葉県総合型クラブ連絡協議会の機能強化
連絡協議会と共にクラブの支援やネットワークの強化を図り、自主的なクラブ間の交流会や連絡会が広がるように支援する。また、今後の連絡協議会を担う人材の発掘にも力を入れる。

情報発信基地としての役割
様々な広報媒体を活用した情報発信、共有システムづくりの推進と総合型クラブ認知に向けた県民への啓発活動を継続する。

登録・認証制度を効果的に運用できるようにするため、市町村との連携を強化する。